

呼吸器内科

〔到達目標〕

■GIO(一般目標)

呼吸器疾患症例を適切に診断・治療して管理する基本的な能力を身につける。

■SBOs(行動目標)

- (1) 患者を全人的に理解し、患者・家族と良好な人間関係を確立できる。
- (2) チーム医療の一員として、医療に関わる多くの人と連携を保ち、適切なコンサルテーションとコミュニケーションを通して協力して診療に当たることができる。
- (3) 患者の問題点を抽出して、情報を収集し適切な評価を行い、患者への対応を判断できる。
- (4) 自己管理能力を習得し、生涯にわたり基本的診療能力を向上させることができる。
- (5) 安全管理に配慮し、医療事故防止および事故後の対処について、マニュアルに沿って行動できる。
- (6) 院内感染対策を理解し、実施できる。
- (7) 術後胸腔ドレナージの意義ならびに抜管にいたる過程を説明できる。
- (8) 適切な症例呈示と討論ができる。
- (9) 診療の場(外来、入院)、対象疾患、および病期(急性期、慢性期、終末期)に応じた適切な診療計画を作成できる。
- (10) 医療の社会的側面の重要性を認識し、保健医療制度、医療保険、公費負担制度、医の倫理、医薬品や医療器具による健康被害の発生防止について理解し、行動できる。
- (11) 呼吸不全の病態生理と、それに対する集学的治療法を説明できる。
- (12) 患者ならびに家族に対するインフォームドコンセントの意義を説明できる。

■LS(方略)

- ① 指導医とともに入院症例を担当し、患者さんの診断・治療に当たる。”On the job training (OJT)”が中心になる。
- ② 検査の見学・介助を行い、手技および検査所見を理解する。
- ③ 各種カンファレンスに参加する。

【週間予定表】

時間 / 曜日	月	火	水	木	金	土
午前	病棟回診 ・処置	病棟回診 ・処置	病棟回診 ・処置	病棟回診	病棟回診 ・処置	抄読会
		気管支鏡 検査		気管支鏡 検査		病棟回診 ・処置
午後	病棟回診 ・処置	病棟回診 ・処置	病棟回診 ・処置	気管支鏡 検査	病棟回診 ・処置	病棟回診 ・処置
			合同カンファ			

■ Ev (評価)

- ① 自己評価: EPOC による形成的評価
- ② 指導医による評価: EPOC による形成的評価と総括的評価
- ③ 看護師やコメディカル等による360° 評価: 独自形式による形成的評価